

きっと家族の命をつなぐ。きっとその時に役に立つ。



No. 23



“互助”のために地域とのつながりを

災害が発生した際、被害を少なくするには自助・共助・公助がうまく連携することが重要です。この中でも、地域や身近にいる人同士が助け合う“共助”を機能させるには、日頃から各地域での付き合いを大切にすることが必要になります。

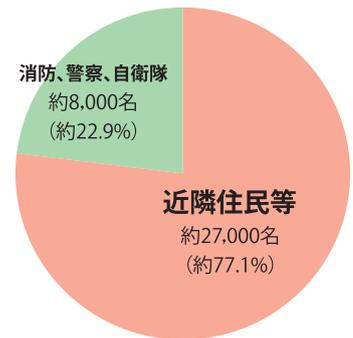
内閣府の「社会意識に関する世論調査」では、地域の人と「付き合いがない」と答える人の割合が増えています。令和7年には約半数を数えており、ご近所付き合いを積極的にする人が減り続けています。

阪神・淡路大震災では、がれきの下敷きに

なった住民の4分の3以上が地域の人や家族に救出されたというデータがあります。地域の方同士できちんとお互いを知っておき、関係を築くことは、いざというときに命を守る大切な“備え”のひとつ。日常的な地域の結びつきは、災害時に大きな助けになるのです。

一戸建て住宅にお住まいの方は自治会、マンション住まいの方は管理組合など、地域の集まりにできるだけ顔を出せると理想的です。また近所の方を見かけた際には、積極的にあいさつをして「顔の見える関係」をつくっておくよう、心がけましょう。

阪神・淡路大震災における救助の主体と救出者数



内閣府「平成26年版 防災白書 図表1 阪神・淡路大震災における救助の主体と救出者数」(https://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/h26/zuhyo/zuhyo00_01_00.html)をもとに作成

この3つの連携が円滑なほど、被害が軽減されるといわれています。“自助”だけでなく“共助”の取り組みを見直しましょう！



共助EPISODE

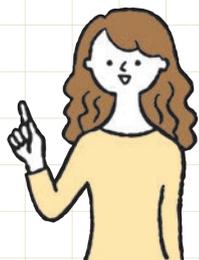
住民同士で助け合った「白馬村の奇跡」

かみしろ
長野県神城断層地震(2014)で、震源地に近い白馬村では住宅42棟が全壊しましたが、近隣住民が迅速に被災者を助け出し、1人の犠牲者も出ませんでした。村が作成するマップを通じて、緊急時に支援が必要な人の場所を把握する体制ができていたことが、共助につながったと評価されています。

いざという時のために「防コミ」でつながる

阪神・淡路大震災以降、次の災害に備えるために、神戸市では「防災福祉コミュニティ(防コミ)」の活動を後押ししています。防災訓練や防災知識の普及啓発に加えて、ご近所同士で顔の見える関係構築のための活動も行っており、地域全体でお互いが助け合える組織づくりのお手本です。





ナテックスタッフのチャレンジに密着!

地域とつながる“お茶会”レポ

いざというときに助け合うには、お互いのことをもっと知っておきたい。そんな思いから地域の人とつながるためのイベントを自ら企画し、実践したスタッフに話を聞きました!

自治会の回覧板を数軒の家で回し合っているのですが、あまり各家庭の方と話したことがありませんでした。kitに携わる中で「共助」の大切さについて考えるたびに、ご近所さんと顔を見て会話したいなと思い「お茶会」を企画しました。当日は30代～90代の女性6人が参加。気軽な会にするために、参加者集めから協力してくれた1人を除いて、防災の観点で目的があることは伏せていました。手ぶらで来てもらうよう伝えていました

が、参加者それぞれがお手製のお菓子などを持ち寄ってくれて、話のきっかけになりました。昔から長くこの地域に住む方から「昔はたくさんお店がにぎわっていて…」と初めて聞く話もあり、街並みが今と違うことがわかってすごくおもしろかったですね。皆さんが笑顔で話している姿を見て、ちょっとしたきっかけでご近所同士は仲良くなれるんだなど実感しました!



チラシを作って参加を募りました♪

- ❗ お茶会がうまくいくために大切なこと…
- POINT 1. 「共助で役立つ関係づくり」という目的は伏せる
 - POINT 2. 人数は多くすぎず、数人程度で行う
 - POINT 3. 1人協力者がいると実行しやすい

協力してくれた方より

15年住んでいます、お隣さん同士でこんなにお話できたことはなかったです。それぞれのご家庭についていろいろと知ることができ、貴重なお茶会だったと思います。



topic “遊び”を共助でつながるヒントに

子どもの保育園・幼稚園や小学校を通じてつながりのある保護者同士で仲を深めることも、共助で役立つ関係づくりの一步に。ご近所さんと積極的に話せる自信がない…という方も「子どもの遊び」という話題から、保護者同士で防災への関心を共有する機会をつくれますよ。

遊び・おでかけの一環で地域の防災イベントへ



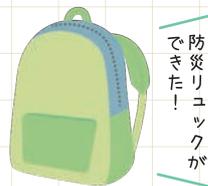
小さなお子さんがいるご家庭では常に新しい「遊び場」を見つけることが課題。全国各地で子ども向けの防災イベントが行われているので、イベント情報を保護者同士でシェアして、機会が合えば子どもを連れて一緒に参加してみましょう。自分だけの防災・防犯ホイッスルが作れる、ナテックの「デコレーションホイッスル」イベントも人気です!

ナテックのホイッスルは、子どもでも十分大きな音を鳴らせる優れもの! デコレーションで自分だけの一本を♪



防災の観点を取り入れた遊びのアイデアをシェア

「子ども用の防災リュックをつくり、子どもに非常食用のお菓子を選んでもらう」「避難ごっこ」として防災リュックを背負って散歩する」といったアイデアを、あくまで「遊びの例」として紹介し合ひましょう。子どもが楽しみながら「防災」に触れる機会になり、家族にとっても備えが進むきっかけになります。



防災リュックができた!



避難ごっこ、楽しかった♪

“サステナ防災”に取り組んでいます!

ナテックは土に還る素材のホイッスルや使い捨て食器など、環境に配慮した素材で製品をつくっています。誰もが備える必要があるからこそ、防災グッズもサステナブルに!

Instagramで最新情報を発信中! 見てほしいかも♡



▲Instagram



▲ECサイト



NATEC EMERGENCY
公式キャラクター ナテくま

発行者 株式会社ナテック 住所 〒490-1205 愛知県あま市花正寺浦55番地
TEL 052-449-6222 MAIL natec-emergency@natec01.co.jp kit No.23